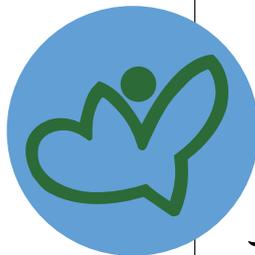




東野高齢者スポーツ大会



6月定例会/目次

議会の動き	委員会報告	一般質問	臨時会報告	6月定例会
12	10 ~ 11	4 ~ 9	3	2

おおさきかみじま 議会だより

第13号/2006年8月4日

大崎上島町議会

☎ (08466) 5-3130 (直通)

FAX(08466) 5-3117

〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野6625-1

E-mail:gikai@town.osakikamijima.hiroshima.jp

6月定例会

平成18年度6月定例議会は6月21日から6月26日までの会期で開催しました。
町長の定例議会の説明を受け、活発な論議を展開し提案された条例、補正予算は原案どおり可決しました。

6月定例会で決まった主なこと

一般会計補正予算 **2千3百万円を追加**
特別会計補正予算（老人保健事業外6事業）
1億7千万円を追加

条例関係

- ・大崎上島町下水道事業減債基金条例
（下水道事業の借入金の返済に充てるため、基金として一定額を積み立てる条例）
- ・大崎上島町公の施設における指定管理者の指定手続きに関する条例
（この関連として、大崎上島町老人集会所等の一部を改正する条例、大崎上島町コミュニティー集会所条例等の一部を改正する条例、大崎上島町ふれあいの館条例等の一部を改正する条例）
- ・大崎上島町営住宅条例の一部を改正する条例
- ・大崎上島町土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例

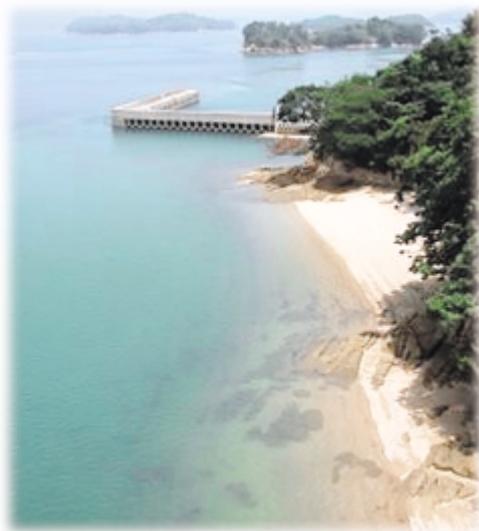
意見書

- ・地方の道路整備の促進に関する意見書
道路整備は本町にとって極めて重要な課題であり、特に県道大崎上島循環線、太田木江線、大西大西港線などの広域的な道路網から、教育・医療、福祉といった住民生活を支える主要路線について、道路整備の推進が強力に図られるよう要望する。
- ・次期定数改善計画の実施と義務教育費国庫負担制度堅持を求める意見書
次期定数改善計画の実施と学校現場に必要な教職員の人員・人材を確保することと、国庫負担率を2分の1に復元することを要望する。2006年度から義務教育国庫負担金が2分の1から3分の1になります。これは地方財政圧迫し、全国的な教育水準の確保を困難にします。義務教育費国庫負担制度を堅持することを要望する。

臨時会報告

第2回臨時会（4月25日）

- 専決処分した事件の承認（6件）
- 大崎上島町教育委員の任命の同意
松本カツエ氏を再任
（任期平成18年6月6日～平成22年6月5日）
- 大崎上島町収入役の事務兼掌条例
（収入役を廃止して、会計課を設置した）
- 大崎上島町表彰条例等を一部を改正する条例



長島大橋から見た向山

第3回臨時会（6月7日）

- 繰越明許費繰越計算書について（4件）
- 工事請負契約の締結について
（大崎上島開発総合センターの解体撤去工事）



神峰山からの眺望



解体作業の進む開発センター

第4回臨時会（7月27日）

- 農業委員の推薦について
近藤範之氏（大崎地区）
金保清氏（東野地区）
西田秀夫氏（木江地区）
以上3名を議会推薦した
（任期は平成18年8月1日～平成21年7月31日）
- 工事請負契約の締結
（沖浦漁港漁業集落環境整備事業）
- 『垂水区養殖場埋立て計画』の即時中止を要望する請願書を受け委員会付託し、審議することとした



大西港

町政を問う

問 エビ養殖場埋め立ての経過は



わたなべ としのり 議員
渡辺 年範

答 ボーリング調査を始めます

答弁 (町長)

まだ本申請に至っておりません。町は県へ当地が非常に軟弱地盤であることを伝えており、県の事前指導を受け、業者は地盤対策のためのボーリング調査を始めるとのことです。これが現段階です。

質問 (渡辺議員)
埋め立て計画のその後の経過報告を求める。

再質問 (渡辺議員)

仮に工事が進んだとして心配なのは、土手の決壊、



垂水区養殖場

方法をとるよう行政指導していただきたい。また損害が起きた場合の住民に対する配慮と、工事後の管理体制を交渉の過程できちっと決めていただきたい。

再答弁 (町長)

周辺土地隆起による民家への損害、悪水溜まり浅水化による雨水の逆流、鉄鋼スラグによる水質汚染などであり、このような事故が起らないような確実な施工

開発指導要綱は周辺環境を十分配慮することが前提となっており、周辺には県有財産も町有財産もあり、工事過程で生じた問題、計画後に生じる問題など、十分検討しなければ地域の住民の理解も得られません。今後も議会と協議しながら進めてまいります。

問 町道整備は

答 地域性を加味し進めていく



まぎた あつお 議員
蒔田 篤雄

質問 (蒔田議員)

今県道は、未整備な部分が残っていますが、徐々にですが整備は進んでいます。しかし、町道は、特に木江地区、東野地区では救急車、消防車の入れないところ



東野町道

問 質 一般

ろが多くあります。財政は非常に厳しいとは思いますが、町民の生命、財産を守るためにも整備は進めるべきと思いますが、今後どのような計画で進めていくのか伺います。

答弁（町長）

財源がなく全部町費で整備しなければならぬ為、限られた財源の中でいかに効率的に進めていく視点で、それぞれの地域性を加味し、財源を有効に使う視点で進めていきたい。

再質問（蒔田議員）

特に東野地区ですが、県道と町道が並行に通っているところが多いいと思います。その部分をバイパスで結べば、財政の負担は少なく、かなりの部分解消できると思います。

再答弁（町長）

今の県道からすそへつながった土地でお願いして対応できる箇所があるとするば、選択肢の一つとして取り組んでいく必要があると思います。

問 今後の学校運営は？

答 関係者と十分協議し、進めていく



ふくまさ すずむ 議員 福増 進

場のあり方については、今後どのように考えているのか。中学校が一つになるということは、調理場も今後一つに統一していくのか、あるいは現状のまま運営していくのか、教育長のお考えを伺います。

質問（福増議員）

今まで、旧町単位でそれぞれ、運動会の開催方法が違ってまいります。今後、中学校も統合され、今まで中学校と合同で行ってきた諸行事など、どのようにに改革、発展させていくのか。また、学校給食共同調理

答弁（教育長）

木江地区の運動会については、幼・小合同で実施すればと考えています。東野地区については、私立の幼稚園と合同で実施する方法や、町民大会と合同で行うことなど関係者等と十分協

議したうえで、意見のまとめを行い、進めていきたいと考えています。学校給食調理場については、中学校が統合しますと、中学校分は大崎給食センターが担うこととなります。木江、東野の食数が減って

くると考えます。私としては、このときを契機に一ヶ所で調理が支障なくできるのであれば、そういう方向を模索すべきではと考えています。これも関係者と十分協議を進めてまいります。



運動会

問 人権啓発体制の構築は

〔答〕 人権対策協議会に諮問し、啓発体制を整えたい



なかむら しゅうじ 議員
中村 修司 議員

〔答弁（藤原町長）〕

人権が確立された中で、平穩に暮らせることが大切です。

総合的な骨子を組み立てていくのは、人権対策協議会の役割と考えていますが、十分に機能していません。

〔質問（中村議員）〕
人権啓発は重要としながらも、その体制は曖昧なままであり、予算も不十分です。
担当部署の明確化と必要予算の明確化、さらに、住民組織のネットワーク化についてどう考えているか。

高齡者・障害者・女性・外国人・子ども・同和問題などの、人権確立に向けた取り組みについて協議会に諮問し、住民組織のネットワーク化についても論議していただきたいと思っています。



反核・平和の火リレー

問 学校教職員の通勤形態の改善は

〔答〕 合併当時と、ほとんど変わっていません

〔質問（中村議員）〕

学校教職員の島外からの通勤が非常に多く、学力や生活指導に影響が出るのではとの問題提起を行ってきました。加えて、子どもの安全確保や、虐待の未然防止などの観点からも、なんとしても改善が必要です。本年度の教員住宅の入居を含めた具体的状況は。

〔再質問（中村議員）〕

県教委の基本方針によって、過疎地の教育条件はますます抑制されるのではとの疑念があるが、校長や教育委員会は、危機感を持って対処しているのか、校長とどのような協議を行ってきたのか伺いたい。
島外からの通勤者が28名、住宅入居者が8名、空き部屋が2戸では、通勤者に住

〔答弁（高田教育長）〕

教職員の構成は、合併当時とほとんど変わっておらず、県教委の人事異動基本方針があり、改善が進んでいません。

以前指摘された、管理職が二名とも島外という状態は意識してきました。
教員住宅入居率は、木江上の谷に一戸、三里浜に一戸空き部屋があります。東野・大崎の老朽化した住宅は、取り壊しを考えています。



三里浜教員住宅

宅入居をお願いするにしても、物理的な矛盾があるのでは。

〔再答弁（高田教育長）〕

広域人事には、メリットもデメリットもあると思います。人材が育てば、地域の子どもにもメリットとなります。

しかし、こうした実態の中で成果が出ていないことについては真摯に受け止め、当面、教員が無償で宿泊できる場所の確保も課題として取り組みたい。

問 総合検診のあり方について

答 今年状況を検討して良い方法を考えたい



谷本 昌 議員

質問 (谷本議員)

今年度からは、特に町民の健康を守り、あわせて医療費の節減のためにということで総合検診へ多くの方の参加を呼びかけている。また合併時、旧時代の良いところは積極的に残して

いくと町民へ約束しながら、なぜこのような日数、会場の大幅削減が行われたのか。木江地区を例にとると、歩いての参加は望めないし、会場と日数の削減で、野賀の福祉センターはてんやわんやで、他地区でも同じような問題があったようだ。高齢化率の高い町民の実態に即した運営を考えるべきだと思ふが。

答弁 (町長)

今年の状況を検討し、検診回数の2〜3回制、個別検診の取り入れなど秋以降にはきつちりしたものを作る。

問 遊休土地、建物の利活用と処分計画は

答 全体的に整理をし、有効利用、処分に取り組む

質問 (谷本議員)

以前から遊休土地、建物の一覧表をつくり、利用、処分計画を立て、有効利用を図るべきだと指摘しているが。

答弁 (町長)

今までも随時対応してきたが、町の行政改革大綱に示されているよう早急に全般的に整理を行い趣旨に沿って取り組む。

問 住民の生活環境に重点を置いた予算組みにソフトすべきは

答 限られた財源の中で効率的な執行を図る

質問 (谷本議員)

木江を例にとると、土木事務所、N.T.T、幼稚園、小学校、統計事務所、法務局、大手企業の支店など次々と消え、町の活気はなくなった。町民

問 東野盛谷奥地区の町道の整備は

答 万一に備え危険箇所への復旧に努める

質問 (谷本議員)

盛谷奥の町道は作ったままで荒れたままだ。山火事への対応、川、砂防堰堤の管理のために簡単な舗装が必要だ。途中にある橋はヒューム管を入れているが、潰れて昨年の台風では池の状態だった。万一崩れると下流の住宅に被害の恐れがあるが。

答弁 (町長)

町道の境界がはつきりしない部分はあるが、理解を得ながら危険箇所の改善に努める。

答弁 (町長)

一般電話で通報できない場合は、携帯電話で現在地を言って連絡してください。

問 大串干拓の将来計画は

答 趣旨に沿って進めたい

質問 (谷本議員)

大串干拓埋立については、現在道路の改良が進んでいる。これからは排水計画、防風対策が大きな課題だと思ふ。

風対策は、海水浴場のような期間限定的な利用であれば問題ないが、周年利用の場合は、防風帯の設置など防風計画が必要と考える。

農業用地への利用と合わせ、防風対策について農業委員会に諮問し意見を聞くべきと思ふが。

答弁 (町長)

道路なども完成の見通しが立つ状況になったので、全体的な利用の出来る仕組みについて、農業委員会などの意見を求めたいと思ふ。

問 火災時の連絡方法

答 携帯電話をのぞいては今までと変わりません

質問 (谷本議員)

一般の天満地区の火災発生時、119番通報したところ、上島消防署につながらないため火災発生場所の確認にとても手間取ったようだ。一刻を争うときに、現地の確認が、的確かつ速やかに判断できないと瞬時の対応が出来ないのでは。

問 地震時の社会的弱者の支援状況を把握したのか

【答】 地震時における救援体制で対処した



信谷 俊樹 議員

質問（信谷議員）

社会的弱者を支援する状況把握をどのようにしたのか。

- ①地震後の状況把握をやったのか
- ②地震被害はあったのか
- ③現在の災害時物資の保管場所は取り壊されるが、新規保管場所はどこにするのか。

答弁（総務課長）

- ①5時5分役場の宿直に電話し、5時20分に各支所に連絡を取り情報の収集にあたりました。
- ②公共施設の被害については、大きな被害はありません。

問 危険な野犬をどうするのか

【答】 本所、支所担当課で捕獲します

質問（信谷議員）

最近犬の事件を聞きますが、根本的な解決になっただけで、根本的な解決にならない気がします。動物愛護推進員などを利用して、ルール啓発、占有権の権限などを指導する考えはありますか。

答弁（保健衛生課長）

動物愛護センターの指導、助言を受け、今後も捕獲作業をしていきます。動物愛護推進員をお願いする考えはありません。



犬の捕獲器

問 車などの大型放置物の処理について

【答】 陸運局などに所有権の照会をしています

質問（信谷議員）

町有地、山道、林道などに車、船、電化製品などが放置されていますが、どのように対処、処理をしてくるのですか。不法投棄として扱い警察に提訴し、厳罰に処罰すべきでは。

答弁（総務課長）

ストックヤード敷地内の放置車は陸運局に所有者の照会をしています。木造の伝馬船は所有者をさがしています。また、不法投棄の防止啓発看板設置などをし、不法投棄に対しては、写真をとったりして警察と相談して担当管轄機関と対処します。

問 道徳、社会教育をどう考えるか

【答】 研修も含め行政全体で取り組む

質問（信谷議員）

子どもに対する殺害、虐待などの事件の原因はどこにあるのか。逆に少年などが大人や親を簡単に殺傷することについてどのように考えているのか

答弁（教育長）

虐待は若干あります。その家庭に対しては保健師や福祉課の職員が家庭訪問をして、状況を見ながら子どもに支援しています。学校ではPTAの会合や学級懇談会の中で保護者に対していろんな話をしてお願いをしています。一般の大人については、教育委員会だけではなく、いろんな立場の人も含めて情報交換をしながらいきたい。

問 救急艇の安芸津港着積改善は

【答】 東広島市と協議する



あかまつ よしお 議員
赤松 良雄

危険性を改善するために海上タクシーの移動など、早急に改善をすべきでは。

【答弁（町長）】 東広島市長と協議し要望を出したい。

【答弁（課長）】

患者専用棧橋の設置は港内が狭く困難です。タクシー移動を含め県に要望していく。

【答】 県・市と協議する

【質問（赤松議員）】

町民が通勤や通院で安芸津港駐車場整備を要望している

ので、早急に改善してほしいと以前議会的一般質問をしました。その後、東広島市や県との協議はどのようなになっているか。

【答弁（町長）】

県と市は財政的に困難で

問 図書改善について

【答】 検討する

【質問（赤松議員）】

2001年12月5日成立した「子どもの読書活動の推進に関する法律」は、学校図書館等の情報化を進め、蔵書等の共同利用化や必要な図書の学校を越えた相互利用の促進・普及等を図るとされている。とあるが。

①島内学校図書館図書標準は。
②現有蔵書数と充足率は。

【答弁（教育長）】

①から④は表1のとおりです。⑤昨年6月に策定。⑦教委で図書に議論していない⑧配置を検討する。

【再質問（赤松議員）】

①文部科学省は5年間で130億円／年を地方交付税で本の整備を促進している。考慮して予算を組んでいる町が多くある。

②情報プラザエルの図書購入費は昨年260万円が200万円に減額しているが。③木江小の図書購入費が何故15万円に減額になったのか。④木江中の図書基準以

下になっているが改善すべき。

【答弁（教育長）】

①地方交付税では本購入費とはなっていない。②③財政で減額された。④合併直後は各校の予算要求がそのまま予算となった。⑤改善の後減額になった。⑤改善の検討する。



安芸津港棧橋

区分	西野小	中野小	東野小	木江小	大崎中	東野中	木江中
児童・生徒数(人)	30	152	86	69	89	53	40
学級数	4	6	6	6	3	3	3
書数05年度末	4,303	5,377	5,432	6,903	6,173	7,892	4,631
学校図書館標準	4,040	5,080	5,080	5,080	5,440	5,440	5,440
充足率%	106.5	105.8	106.9	135.8	113.4	145.0	85.1
図書購入費	03年度	10万	30万	30万	30万	50万	30万
	04年度	15万	12万	15万	15万	30万	25万
	05年度	〃	15万	〃	〃	20万	20万
	06年度	〃	〃	〃	〃	〃	〃
廃棄基準	自校	なし	なし	自校	自校	なし	なし

総務福祉文教常任委員会報告

委員長：中村修司 副委員長：福増 進
委員：森川家忠 藤原龍秀 土井田聖次
赤松良雄 谷本 昌 渡辺年範

4月以降、毎月継続して委員会を開催し、多くの課題について、調査・研究を進めています。
主要な課題について、現状や課題、今後の方向性などについて報告いたします。

①火葬場の改修について

大崎上島火葬場・大峰苑は、建設から24年が経過し、老朽化が進んでいます。待合室やトイレの改修が必要となっていることから、施設の現状を調査しました。
当面、トイレの改修に着手し、合併特例適用中に建て替えができるかどうか引き続き調査を進めます。



火葬場「大峰苑」

②リサイクルセンターの建設と将来のごみ処理体制について

リサイクルの開始にあわせて、ストックヤードは確保しましたが、今後、どうしてもリサイクルセンターが必要となります。

センターの位置や規模、機能などについて、広域行政組合の意見を聞きながら、研究を進めています。

また、将来のごみ処理を、広域施設に委ねるのか、町独自の施設を維持するのかわりにしても、町の方向性を示さねばなりません。議会としても、町益を損なうことのない判断を下せるよう、調査を急がねばなりません。

③中学校統合について

5月には、新校舎建設のための、基本設計が委託されており、6月には、開校準備委員会が、開かれることとなっています。

委員会としては、基本設計完成までに、設計業者から説明を受け、地域にふさわしい施設となるよう審議

する予定です。

また、統合までの授業のあり方や、クラブ活動のあり方について、意見が交わされています。



ストックヤード

④光ファイバー網の活用について

昨年、福祉メニューの試験的活用は始められましたが、全体的な活用には多くの課題があります。

テレビ受信網としての活用や、利用料低廉化による加入促進などについて再度取り組むよう、委員会として執行部に強く要請しています。今回は、業者に委員会への出席を求め、協議をおこなう予定です。

紙面の関係で、内容は紹介できませんが、協議中の主な事項は以下の項目です。
・子育て支援ネットワークの現状と課題

- ・ビーチバレーボールの住民への普及体制
- ・指定管理者制度導入
- ・入札制度のあり方
- ・学校給食と地産地消のあり方
- ・大串陸揚げ施設の撤去
- ・空き家活用計画の実施
- ・財政推計と建設計画、等について協議中です。



テレビ電話

産業建設常任委員会報告

委員長：信谷俊樹 副委員長：辰田信司
委員：蒔田篤雄 熊佐尊徳 松原 茂
浜田明利 増本 真 西田 巧

産業建設常任委員会では、建設課・農林水産課・上下水道課・商工観光課などと毎月1回ぐらいのペースで委員会を開き、現在の問題点や新規事業の入札状況、繰越事業、条例改正の説明を受けて、協議検討をしています。

建設課については、大崎上島町公営住宅総合計画策定業務についての説明を受け、木造住宅で入居していない住宅については廃止の方向を進めています。また、家賃滞納者については保証人と連絡を取り、弁護士に相談しながら強行手段の検討をしています。

大崎上島巡回道路問題では、過疎化歯止めのために道路網整備の早期実現を推進していく協議をしました。そのほかでは、①適切な随意契約なのか。②指名業者審査会の審査のあり方。③指名辞退者の対応。④適正な工期延長か。⑤島内業者の育成などについて協議しています。

農林水産課については、県の単独事業（林道天満線・権現山線）での道路幅員は、5mから4mで施工することに決まりました。



林道天満線

特定法人貸付事業「一般企業の農業参入」の参入指定地域（草木・原下・大串地区）などの説明を受け、今後の対応策を検討しました。

県営大串外浜海岸環境整備事業について状況説明と今後の対応策を協議しました。

土地改良事業は農用地にしておかなければ、補助事業の対象にならないので、地域プロジェクトを8月末

までに策定して県に提出予定です。

中山間地域総合整備事業は防火水槽設置が条件となっており、緊急性のあるものから作成していきます。7月の大雨による被災箇所は農道が1ヶ所、農地が3カ所で災害対象外でした。また、議会推薦の農業委員についても協議しました。

上下水道課については、水道料金の滞納者の固定化についての対応を協議しています。弁護士に相談しながら税務課と連携して徴収方法の検討をしています。

下水道事業で不要な箇所（住民の不在等）まで公共枘を設置する必要はないと指摘しています。

その他では、①適切な随意契約なのか。②指名業者審査会の審査のあり方。③指名辞退者の対応。④適正な工期延長か。⑤島内業者の育成。⑥減債基金について。⑦下水道事業の加入率についてなど協議しています。

商工観光課については、野賀海水浴場、自然休養村（生野島）との管理業務委託契約の内容説明を受け、事故の損害賠償問題、使用料金の処理などを協議しています。



生野島



議会の動き

4月1日から
6月30日までの議会の日程です

4月

6・7日

小・中学校入学式

7日 広報調査特別委員会

8日 耳鼻科診療所開所式

広島ゆたか農協事務所グリーンセン

ター竣工式（呉市）

幼稚園入園式

10日 交通対策調査特別委員会

観光協会定期総会

大崎上島町遺族会総会

11日 大崎上島交流推進事業実行委員会

12日 せら夢公園開園式（世羅町）

14日 ふれあい工房（授産施設）落成式

18日 産業建設常任委員会

19日 広島県町村議長会定例議長会（広島市）

20日 第2回臨時会

25日 広報調査特別委員会

28日 総務福祉文教常任委員会

27日 生活排水フォーラム（広島市）

5月

8日

17日 商工会合併基本協定書調印式

12日 産業建設常任委員会県陳情

大崎上島環境センター環境保全委員会

6月

22日

臨空広域市町村協議会（三原市）
保育所ひかりえん新園舎竣工式

23～24日

第31回全国議長会議長研修会（東京都）

24日

総務福祉文教常任委員会

26日

木江戦没者追悼法要

1日

議会運営委員会

2日

竹原広域行政組合臨時会（竹原市）

7日

第3回臨時会

10日

産業建設常任委員会

13日

総務福祉文教常任委員会

14日

安原保元氏旭日小綬章受賞祝賀会（福山市）

16日

議会運営委員会

17日

大崎上島クリーンセンター環境保全協議会

21日

木江地区造船海運振興協議会

22日

大崎上島消防署起工式

26日

木江年金者連盟木江分会総会

6月定例会第1日目

6月定例会第2日目

総務福祉文教常任委員会

編集後記



梅雨の蒸し暑さによる寝苦しさ、未明よりワールド

カップのテレビ放送、ビックリ北朝鮮によるミサイル発射・韓国との竹島問題・中国との尖閣諸島問題、日頃からのつけがいつぱんに来た。国際間の問題はジダン選手の頭突きぐらいで許して欲しい。国内では不幸な事に子どもへの虐待等の続発、これでいいのか日本は、今責任と自覚を持った行動があるのである？

梅雨明け前の豪雨、今年は災害が無く青空の下、子どもたちが夏休みを迎え、各地区の楽しい夏祭り・盆行事等の体験の中から町の良さを再発見していただきたい。

体調を崩さない事をお祈りいたします。

広報委員会は町と皆さんをつなぐ読みやすく愛される紙面づくりに取り組んでいます。

皆さんの貴重なご意見をお寄せください。

